

2008

全国专业技术人员职称外语等级考试用书

职称日语

等级考试用书

にほんご

人事部人事考试中心
国家外国专家局培训中心 组编

中国人事出版社

图在编目(CIP)数据

2008·全国专业技术人员职称外语等级考试用书

职称日语等级考试用书

人事部人事考试中心 组编
国家外国专家局培训中心

封面设计：张永刚

责任编辑：曲英丽

中国人事出版社

地址：北京市朝阳区育慧里2号 邮编：100101
联系电话：(010) 84632303 (编辑室) 84643933 (总编室)
中国人事出版社发行

787×1095毫米 1/32 字数：264千字 印张：18.25
中国人事出版社

2007年12月第1版 2007年12月第1次印刷

印数：1—3000册 定价：37.00元

图书在版编目(CIP)数据

职称日语等级考试用书/人事部人事考试中心,国家外国专家局培训中心
组编. —北京:中国人事出版社,2007. 12

全国专业技术人员职称外语等级考试用书

ISBN 978-7-80189-697-1

I. 职... II. ①人... ②国... III. 日语—职称—资格考核—自学参考
资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 192922 号

网上售书: www.oecoe.net.cn

网上售书电话: (024)23964455 23284161

本书零售:北京市财经书店(北京市东城区美术馆后街 80 号)

联系电话: (010) 64033436 64072838

人事部人事考试中心举报电话: (010) 64401070 64401071

责任编辑:曲英丽

封面设计:陈飞燕

中国人事出版社出版

地址:北京市朝阳区育慧里 5 号

邮政编码:100101

联系电话: (010) 84632307(编辑室) 84643937(总编室)

河北零五印刷厂印刷

中国人事出版社发行

787×1092 毫米 1/16 字数:564 千字 印张:19.25

2007 年 12 月第 1 版

2007 年 12 月第 1 次印刷

印数:1—7 000 册

定价:37.00 元

前 言

外语是专业技术人员学习国外先进知识和技术,进行学术、技术交流的重要工具,也是专业技术人员能力建设的重要方面。为帮助广大专业技术人员熟悉全国职称日语等级考试方法,我们根据人事部专业技术人员管理司审定的《全国专业技术人员职称日语等级考试大纲》,组织编写了2008年版《职称日语等级考试用书》,作为全国专业技术人员参加职称日语等级考试的培训及学习用书。

本书分语法、句型、大纲样题分析及解答、模拟题及答案、短文阅读等五部分。书后收录了2007年全国职称日语等级考试试题、答案与题解。

语法部分对日语中的主要语法现象作了重点讲解;句型部分从接续、意义、解说、例句等四个方面作了分析和说明;大纲样题分析部分主要是帮助考生解决解题思路问题;模拟题部分按A、B、C等级各编写了数套模拟题,并按语法现象分类列出,以便考生有针对性地进行系统复习;短文阅读部分(短文由易到难排列)旨在提高考生的综合阅读能力,同时也为考生的考前综合复习提供了素材。

《职称日语等级考试用书》中的题型和所选材料的难易度是以《大纲》为依据进行编写的,力求能够全面地体现《大纲》的要求。由于本书的编写着眼于提高考生的阅读理解能力,因此考生不但要做好书中的练习题,更要认真读懂书中收录的文章,这样才能有助于阅读水平的提高,并取得理想的考试成绩。

北京第二外国语学院의邱鸣教授主持了本书的编写审定工作。参加编写的还有单文根、姜红等同志。值此《职称日语等级考试用书》出版之际,我们向参与本书编写、审定的专家表示感谢。

人事部人事考试中心
国家外国专家局培训中心
2007年11月

目 录

语法	(1)
第一章 名词	(2)
第二章 动词	(5)
第三章 形容词、形容动词	(15)
第四章 副词、连体词	(18)
第五章 助动词	(20)
第六章 助词	(31)
第七章 接续词	(45)
第八章 感动词	(48)
第九章 敬语	(49)
句型	(53)
大纲中样题答案分析	(111)
A 级	(111)
B 级	(126)
C 级	(140)
模拟题及答案	(154)
一、模拟题	(154)
1. 语法Ⅰ(接续词、副词)	(154)
2. 语法Ⅱ(授受关系、被动、可能)	(159)
3. 语法Ⅲ(助词、助动词、补助动词、敬语等)	(164)
4. 句型	(166)
5. 联句能力	(169)
6. 句子理解	(173)
7. 句群	(199)
8. 短文	(214)

二、模拟题答案	(237)
---------------	-------

短文阅读	(242)
------------	-------

2007 年度全国职称外语等级考试试卷(日语·A 级)	(264)
-----------------------------------	-------

2007 年度全国职称外语等级考试试卷(日语·B 级)	(271)
-----------------------------------	-------

2007 年度全国职称外语等级考试试卷(日语·C 级)	(278)
-----------------------------------	-------

2007 年度职称外语等级考试标准答案	(284)
---------------------------	-------

2007 年职称外语等级考试日语试卷题解(A 级)	(286)
---------------------------------	-------

2007 年职称外语等级考试日语试卷题解(B 级)	(290)
---------------------------------	-------

2007 年职称外语等级考试日语试卷题解(C 级)	(295)
---------------------------------	-------

(81)	同本卷, 同篇 章四第
------------	-------------

(82)	同本卷, 同篇 章五第
------------	-------------

(83)	同本卷, 同篇 章六第
------------	-------------

(84)	同本卷, 同篇 章七第
------------	-------------

(85)	同本卷, 同篇 章八第
------------	-------------

(86)	同本卷, 同篇 章九第
------------	-------------

(87)	同本卷, 同篇 章十第
------------	-------------

(88)	同本卷, 同篇 章十一第
------------	--------------

(89)	同本卷, 同篇 章十二第
------------	--------------

(90)	同本卷, 同篇 章十三第
------------	--------------

(91)	同本卷, 同篇 章十四第
------------	--------------

(92)	同本卷, 同篇 章十五第
------------	--------------

(93)	同本卷, 同篇 章十六第
------------	--------------

(94)	同本卷, 同篇 章十七第
------------	--------------

(95)	同本卷, 同篇 章十八第
------------	--------------

(96)	同本卷, 同篇 章十九第
------------	--------------

(97)	同本卷, 同篇 章二十第
------------	--------------

(98)	同本卷, 同篇 章二十一第
------------	---------------

(99)	同本卷, 同篇 章二十二第
------------	---------------

(100)	同本卷, 同篇 章二十三第
-------------	---------------

(101)	同本卷, 同篇 章二十四第
-------------	---------------

(102)	同本卷, 同篇 章二十五第
-------------	---------------

(103)	同本卷, 同篇 章二十六第
-------------	---------------

(104)	同本卷, 同篇 章二十七第
-------------	---------------

语 法

日语的语法体系主要是由词法、句法、篇章法构成的。词法研究主要包括词的分类、变化、规则等；句法和篇章法研究的是句子和篇章的结构、分类等。本书的语法讲解部分，以词法为主，根据传统的词类划分，分为以下十大类：名词、动词、形容词、形容词、副词、连体词、助动词、助词、接续词、感动词。其中，名词（包括代名词和数词）被称为体言；动词、形容词、形容词被称为用言；副词和连体词的基本功能在于构成修饰成分；接续词和感动词皆可在句中构成独立成分。以上的8种词类都属于内容词，除此之外的助动词和助词，没有或很少具有实际的词汇意义，接在内容词后起语法作用。

日语被语言学家归类为“粘着语”。所谓“粘着”，一般指的是名词等内容词只有在粘附上功能词时，才能在句中充当成分，表示该内容词在句中的地位以及与其他词的关系。日语的动词、形容词、形容词具有词形变化，其活用形在粘着上功能词后，也会发生语法意义的变化。

在语序方面，日语语序的最大特点是谓语总是处于句子的最后，定语、状语总是处在被修饰的词语之前。由于功能词可以明确地标志出主语、宾语、补语等成分，因此这些成分的顺序未必是一成不变的。

以下，我们将按照词类的划分进行详细的说明。最后，考虑到敬语在日语交际功能方面比较重要的地位，添加了介绍敬语的章节。

第一章 名 词

名词是体言的一种,用来表示事物、概念的名称。关于名词的下位分类,语法界有几种不同的观点。本书综合目前的几种观点,分为以下几类:代名词、数词、形式名词、固有名词、普通名词、动作性名词。

第一节 代名词

有些语法书将代名词定位为区别于名词的体言。本书将代名词纳入名词范畴进行讲解。代名词不表示固定的事物,代名词的内容是因所指事物的变换而变换的。日语代名词的一大特点就是,分为近称、中称、远称、不定称。例如:ここ、そこ、あそこ、どこ。代名词分为3类:人称代名词、指示代名词、反身代名词。

1. 人称代名词

人称代名词是指代人的名词,分为第一人称、第二人称、第三人称和不定称。第三人称又分为近称、中称、远称。主要人称代名词如下:

第一人称 わたし、わたくし、あたし、ぼく、わたしたち

第二人称 あなた、君、おまえ、あなたたち

第三人称	{	近称	このひと、このかた、こいつ
		中称	そのひと、そのかた、そいつ
		远称	あのひと、あのかた、あいつ、彼、彼女
		不定称	だれ、どなた、どのひと、どいつ

2. 指示代名词

指示代名词指示事物、场所、方向,也分近称、中称、远称和不定称。主要指示代名词如下:

事物代名词 これ、それ、あれ、どれ

场所代名词 ここ、そこ、あそこ、どこ

方向代名词 こちら(こっち)、そちら(そっち)、あちら(あっち)、どちら(どっち)

事实上,以上的区分并不十分严格,有时它们之间可以互相转换。这里不再详述。

3. 反身代名词

反身代名词指再一次指代同一事物的一种代名词。常用的反身代名词例如:

自分、自身、自体、自己

第二节 数词

数词表示事物的数目、数量等。可以分为三类:基数词、序数词、数量词。

1. 基数词

基数词表示事物数目多少。固有的和语数词和汉字数词都有基数词,意义相同,但读音和用法有差异。一般多用汉字数词,和语数词一至十有时用到。

音读:一(いち)、二(に)、三(さん)、四(し)、五(ご)、六(ろく)

七(しち)、八(はち)、九(きゅう、く)、十(じゅう)、百(ひゃく)

千(せん)、万(まん)、兆(ちょう)、零(れい)、半(はん)

其中“10”、“100”、“1000”读作“じゅう”、“ひゃく”、“せん”以外,其它的数词读法与汉语习

惯基本相同。例如：

19 (じゅうきゅう)

251 (にひゃくごじゅういち)

3012 (さんぜんじゅうに)

18625 (いちまんはっせんろっぴゃくにじゅうご)

训读：一(ひ)、二(ふ)、三(み)、四(よ)、五(いつ)、六(む)、七(なな)、八(や)、九(こ)、十(とお)。

2. 序数词

序数词表示事物的顺序、等级。日语的序数词多为接头词、接尾词加上数量词构成。常用的接头词是“第”，如“第一”，常用的接尾词则有“目、番、位、等、級、号”等，如“一つ目、二番、三位、四等、五級、六号”。

3. 数量词

日语的数量词由基数词加量词构成。日语中的量词很发达，是日语的特点之一。量词不能独立使用，是一种后缀，用来表示单位。常用的量词有：“つ、人、枚、個、台、丁、杯、羽、匹、頭、通”等。例如：

つ：表示个体事物。

一つ (ひとつ)、二つ (ふたつ)、三つ (みつ)、四つ (よっつ)、五つ (いつつ)

六つ (むっつ)、七つ (ななつ)、八つ (やっつ)、九つ (このつ)、十 (とお)

(“十”之后不接“つ”，直接用基数词兼作数量词。)

人：表示人的单位量。

一人 (ひとり)、二人 (ふたり)、三人 (さんにん)、四人 (よにん)、五人 (ごにん)

六人 (ろくにん)、七人 (ななにん)、八人 (はちにん)、九人 (きゅうにん)

十人 (じゅうにん)

第三节 形式名词

形式名词是指形式上是名词，但实际上没有或者很少有实质意义。形式名词大多都是由实质名词转变而来，它把用言变为体言，使其具有名词的性质。常用的形式名词主要有：“こと、もの、の、ところ”等。形式名词不可单独使用。例如：

●あしたから出張に行くことをすっかり忘れていた (我把明天要出差的事完全忘在脑后了。)

●人はなかなかわからないものだ。(人心难测。)

●小さい頃、よくみんなで近くの川を泳いだものだ (小时候我经常和大家一起在附近的河里游泳。)

●母はセーターを編むのがすきだ (我妈妈喜欢织毛衣。)

●私が言いたいのは次のようだ。(我想说的是以下内容。)

●兄は今お風呂に入っているところだ (哥哥现在正在洗澡。)

第四节 固有名词

固有名词表示仅适用于某项事物的名称，含人名、地名、国名、书名、团体名称、某事件名称等。例如：

芥川龍之介、北京、アメリカ、雪国、文部省、明治維新

第五节 普通名词

普通名词在名词中的数量最多,区别于固有名词,指的是同类事物的共同名称的名词。例如:

本、教室、明日、計画、気持ち、学校

第六节 动作性名词

还有一类名词可以单独列出,因为它们具有一定的动作性,称之为动作性名词。其中一部分是“動詞”的词干,例如:

入学、留学、洗濯、勉強、報告

另一部分是由动词的连用形构成,例如:

行き、帰り、働き、遊び

●図書館へ本を借りに行きます(去图书馆借书。)

●デパートへ買い物に行きます(去百货公司买东西。)

【要点】

1. 形式名词不可单独使用。
2. 日语的名词没有数的变化,其自然“数”的表达,也是通过构词手段来完成的。如:人々、各大学、子供たち。
3. 日语的名词在句中的地位和与其他词之间的关系一般都是由格助词来表示的。如:
●私は妹を連れて公園へ遊びに行った(我带妹妹去公园玩了。)
4. 表示数量的名词后面通常不带助词,数词一般出现在动词的前面。
●母はりんごを三つ買った(我妈妈买了三个苹果。)

第二章 动词

动词是用言的一种,用于描述人或事物的动态属性,即动作、作用、变化、存在等。日语的动词在形式上非常明显,一看便知。日语动词的特点是:①从形态变化上可分为四类:五段动词、一段动词、サ变动词、カ变动词。②动词基本形(以终止形为基本形)最后一个假名是ウ段假名。动词词尾在「あ、い、う、え、お」各段上发生变化。③可以根据是否要求宾语分为:他动词、自动词。④还可以根据后接ている的情况分为:状态动词、继续动词、瞬间动词、形容性动词(也称第四种动词)。

第一节 动词在形态上的分类

按照活用对动词进行分类,是对教学最有实际意义的分类方法,也是日语语法学习中最基本的一项内容。下面,我们依次进行说明。

1. 一段动词

一段动词分为上一段动词和下一段动词。两者的共同点是词尾都有两个假名,最后一个假名都是“る”。两者的不同之处在于,上一段动词词尾的前一个假名是“イ”段假名(い、き、し、ち、に、ひ、み、い、り、い),如:“起きる、伸びる、借りる、落ちる”等;而下一段动词词尾之前的假名是“エ”段假名(え、け、せ、て、ね、へ、め、え、れ、え),如:“見える、食べる、開ける、捨てる”等。一段动词中,有少数动词的词干只有一个假名,而这个假名又兼作词尾的第一个假名。如上一段的“見る、居る、似る”,下一段的“出る、得る、寝る”。

2. 五段动词

词尾在五十音图的ア、イ、ウ、エ、オ五段中变化的动词叫做“五段动词”。下面我们来介绍一下怎样识别五段动词:①五段活用动词的词尾只有一个假名,为ウ段假名(う、く、す、つ、ぬ、ふ、む、ゆ、る、う)。如:“言う、聞く、差す、持つ、読む”等。②如果词尾是“る”,前面的一个假名既不在“イ”段上,也不在“エ”段上,则是五段动词。如:“起こる、貼る、始まる”等。

但是,有一些五段动词在形式上与一段动词一样,符合一段动词的条件,但是它们比较特殊,是“特殊的五段动词”,数量不多,大概有以下一些动词:“知る、走る、帰る、切る、要る、滑る、減る、照る、練る、散る、蹴る、焦る、かじる、混じる、しゃべる、せびる”。

3. サ变动词

サ行变格活用动词简称“サ变动词”。属于这一类活用类型的动词,除了“する”以外,还有大量的以“する”为词尾的动词,其中主要是汉语词动词或者外来词动词。例如:“勉強する、報告する、心配する、インタビューする”。

4. カ变动词

カ行变格活用词简称“カ变动词”。仅有“来る(くる)”一词。

第二节 动词在意义作用上的分类

根据动词的意义和句法特点可将日语动词分为“他动词”和“自动词”。从形式上看,所谓的“他动词”,即带有“～を”形式的支配成分的动词。如:“(本を)読む”、“(ご飯を)食べる”等。与他动词对应,不要求宾语的动词叫做“自动词”。如:“(雨が)降る”、“(学校へ)行く”等。

但是,他动词和自动词的区别并非只看有没有“～を”。日语中也有一部分自动词前面也有

“～を”,可这时它并不是宾语。例如:

- 橋を渡る/空を飛ぶ(“を”表示自动词通过的场所)
- バスを降りる/学校を出る(“を”表示自动词离开场所)

第三节 根据后接“ている”的情况分类

日本著名语法学家金田一春彦有关动词四分类的学说具有较大的影响。准确地说,应该是根据“体”的特点,进行了“状态动词、继续动词、瞬间动词、形容性动词(也称第四种动词)”的分类。在这里,我们将“体”的概念通俗地解释为后接“ている”的情况。这种解说方法可能更容易被理解。

1. 状态动词

状态动词不能后接“ている”,这类动词本身就表示状态存在或者能力。它是超越时间观念的动词。如:“ある、いる、できる、見える、読める”等。

2. 继续动词

继续动词后接“ている”,表示动词所指的动作或作用正在进行过程中。所表示的动作发生时一般是在一定时间里进行的。这类动词很多,如:“書く、泣く、渡る、飛ぶ、読む、勉強する”等。

3. 瞬间动词

瞬间动词后接“ている”,表示动词所指的动作或作用已经结束,但其结果还保留着。所表示的动作一般是在瞬间结束。如:“始まる、死ぬ、起きる、結婚する”等。

4. 第四类动词

形容性动词与第一类状态动词在“超越时间观念”这一点有类似之处,但是状态动词表示的是“处于某种状态”,而第四类动词则表示“本身具有某种状态”。这类动词一般都是要以后接“ている”的形式使用,表示状态、性质等。如:“そびえる、似る、沿う、優れる、ありふれる”等。

第四节 动词的活用

日语的动词在句中使用时,根据其语法功能不同而发生词形的变化。动词的这种词形变化叫做“活用”,动词在句中的活用形式叫做动词的“活用形”。不同的活用形表示不同的语法意义。从构词角度讲,动词可以分解为“词干”和“词尾”。动词活用时,只有词尾的形式发生变化,其词汇的基本意义不变。但是,也有词干和词尾融为一体,无法将其截然分开的情况。现代日语的活用行有六种:即未然形、连用形、终止形、连体形、假定形和命令形。各类活用动词的变化如下:

1. 五段动词

五段动词的活用特点是词尾分布在五十音图の、イ、ウ、エ、オ五个段中变化。具体的活用变化如下表:

行	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
カ	書く	か	か	こ	き	い	く	け
ガ	泳ぐ	およ	が	ご	ぎ	い	ぐ	げ

行	基本形	词干	未然形		连用形		终止形	连体形	假定形	命令形
サ	押す	お	さ	そ	し		す	す	せ	せ
タ	勝つ	か	た	と	ち	っ	つ	つ	て	て
ナ	死ぬ	し	な	の	に	ん	ぬ	ぬ	ね	ね
バ	飛ぶ	と	ば	ぼ	び	ん	ぶ	ぶ	べ	べ
マ	飲む	の	ま	も	み	ん	む	む	め	め
ラ	乗る	の	ら	ろ	り	っ	る	る	れ	れ
ワ	買う	か	わ	お	い	っ	う	う	え	え

2. 一段动词

一段动词的活用特点在于词尾的最后一个假名“る”的变化。它不像五段动词那样在五个段上变化,它只是在一个段上发生变化。一段动词活用如下表:

上一段动词活用表

行	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ア	居る	(い)	い	い	いる	いる	いれ	いろ,いよ
カ	着る	(き)	き	き	きる	きる	きれ	きろ,きよ
ガ	過ぎる	す	ぎ	ぎ	ぎる	ぎる	ぎれ	ぎろ,ぎよ
サ	察しる	さっ	し	し	しる	しる	しれ	しろ,しよ
ザ	減じる	げん	じ	じ	じる	じる	じれ	じろ,じよ
タ	落ちる	お	ち	ち	ちる	ちる	ちれ	ちろ,ちよ
ナ	似る	(に)	に	に	にる	にる	にれ	にろ,によ
ハ	干る	(ひ)	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひろ,ひよ
バ	伸びる	の	び	び	びる	びる	びれ	びろ,びよ
マ	見る	(み)	み	み	みる	みる	みれ	みろ,みよ
ラ	降りる	お	り	り	りる	りる	りれ	りろ,りよ

下一段动词活用表

行	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ア	得る	(え)	え	え	える	える	えれ	えろ,えよ
カ	受ける	う	け	け	ける	ける	けれ	けろ,けよ
ガ	投げる	な	げ	げ	げる	げる	げれ	げろ,げよ
サ	乗せる	の	せ	せ	せる	せる	せれ	せろ,せよ
ザ	混ぜる	ま	ぜ	ぜ	ぜる	ぜる	ぜれ	ぜろ,ぜよ
タ	捨てる	す	て	て	てる	てる	てれ	てろ,てよ
ダ	撫でる	な	で	で	でる	でる	でれ	でろ,でよ
ナ	尋ねる	たず	ね	ね	ねる	ねる	ねれ	ねろ,ねよ

行	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
ハ	経る	(へ)	へ	へ	へる	へる	へれ	へろ、へよ
バ	比べる	くら	べ	べ	べる	べる	べれ	べろ、べよ
マ	改める	あらた	め	め	める	める	めれ	めろ、めよ
ラ	慣れる	な	れ	れ	れる	れる	れれ	れろ、れよ

3. サ变动词

サ变动词“する”的活用特点是，在サ行イ、エ两段上变化。有时，“する”会浊化为“ずる”，但其形态变化的规律与“する”一致。

サ变动词活用表：

行	基本形	词干	未然形		连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
サ	する	(す)	し	せ	し	する	する	すれ	しろ、せよ
サ	愛する	あい	し	せ	し	する	する	すれ	しろ、せよ
ザ	減ずる	げん	じ	ぜ	じ	ずる	ずる	ずれ	じろ、ぜよ

4. 力变动词

力变动词“来る”的活用特点是，在力行イ、オ两段上变化。

力变动词活用表：

行	基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
カ	来る	(く)	こ	き	くる	くる	くれ	こい

第五节 五段动词的音便

五段动词的连用形在后接某些助词、助动词时，需要发生音便。具体来说，五段动词（サ行五段动词外）后接“て、ては、ても、た、たり”时，活用动词词尾要发生“イ音便”、促音便或拨音便。

1. イ音便

イ音便是指以“く”为词尾的五段动词后接“て、ては、ても、た、たり”时，连用形“き”变为“い”。以“ぐ”为词尾的五段动词，连用形“ぎ”变为“い”，后接的“て、ては、ても、た、たり”要发生浊变，变为“で、では、でも、だ、だり”。

書く＋て→書いて 書く＋た→書いた

泳ぐ＋て→泳いで 泳ぐ＋た→泳いだ

2. 促音便

促音便指的是以“う、つ、る”为词尾的五段动词的连用形“い、ち、り”变为促音“っ”。

買う＋て→買って 買う＋た→買った

育つ＋て→育って 育つ＋た→育った

作る＋て→作って 作る＋た→作った

3. 拨音便

拨音便是指以“ぬ、ぶ、む”为词尾的五段动词的连用形“に、び、み”变为拨音“ん”，而且后接的“て、ては、ても、たり”要发生浊变，变为“で、では、でも、だ、だり”。

死ぬ＋て→死んで　死ぬ＋た→死んだ

呼ぶ＋て→呼んで　呼ぶ＋た→呼んだ

飲む＋て→飲んで　飲む＋た→飲んだ

但是，在所有的五段动词音便现象中，有一个特殊的词“行く”不符合上述规律。它是以“く”接尾的五段动词，但是不发生“イ音便”，而是发生促音便。

行く＋て→行って　行く＋た→行った

第六节 动词各活用形的用法与意义

1. 未然形

未然形不能独立出现，必须后续助动词，才可以表达完整的语法意义。

1.1 后续助动词“ない”，表示否定。是动词未然形最有代表性的用法之一。

●学校へ行く→学校へ行かない（不去学校。）

●水を飲む→水を飲まない（不喝水。）

1.2 后续助动词“せる（させる）”、“れる（られる）”构成动词的使役态、被动态、自然发生态或者表示尊敬。

●弟が買い物に行く→弟を買い物に行かせた（让弟弟去买东西。）

●雨が降る→雨に降られる（挨雨淋。）

●家族のことを思い出す→家族のことが思い出される（不由得想起家人。）

●校長先生は毎日散歩をする→校長先生は毎日散歩をされる（校长每天散步。）

1.3 后续助动词“う（よう）”，表示意志和推量两种意义。

五段动词的未然形有两种，后接“う（よう）”时，使用第二种未然形（把词尾变到“オ”段上）。表示意志的用法多见，而表示推量的用法则数量有限，且多出现在书面用语中。一般情况下，表示推量的意义时，常用动词的终止形后接“だろう”或“でしょう”。

●学校へ行く→学校へ行こう（去学校吧！）

●ご飯を食べる→ご飯を食べよう（吃饭吧！）

●交通問題が深刻になっていると言える→交通問題が深刻になっていると言えよう→交通問題が深刻になっていると言えるだろう（可以说交通问题正在日趋严重。）

2. 连用形

连用形是用法最多的活用形，概括起来有以下用法：

2.1 构词用法

动词的连用形可以转换为名词，或者与其他词素构成复合名词。

●話しがうまい（擅长辞令。）

●動きが激しい（活动剧烈。）

●早起き早寝は健康に一番いい（早起早睡对身体最好。）

●押入れから布団を引き出した（从壁橱里拉出被褥。）

2.2 中顿用法

表示并列，有时含有顺接、因果、逆接等关系。

●音楽を聴き、コーヒーを飲む（听音乐，喝咖啡。）

●お礼を言い、車に乗る（寒暄后上车。）

●百メートル下に転落し、怪我はしなかった（摔落到百米深的地方，竟然没受伤。）

2.3 后续助动词

后续助动词,构成某种语法意义。可以连接的助动词很多,详细内容可以参照本书第五章“助动词”。

- 本を読みます(读书。)
- 長い手紙を書いた(写了一封长信。)
- 夏休みに海に行きたい(暑假想去海边。)

2.4 后接助词

后接助词,增添语法意义。详细内容可参照本书第六章“助词”。

- 日曜日に釣りに行く(周日去钓鱼。)
- 音楽を聴きながら、歩いている(边听音乐边走路。)
- 行ったり来たりして、いらいらしている(来来回回的,很烦躁。)

3. 终止形

3.1 用以结句

位于句末,用以结句。

- 来年、留学に行く(明年去留学。)
- 部屋をきれいにする(把房间打扫干净。)

3.2 后续助动词,增添语法意义

详细内容请参考第五章“助动词”。

3.3 后续助词

详细内容请参考第六章“助词”。

4. 连体形

4.1 连接体言做定语

- 電車を待つ人がいっぱいだ(等电车的人很多。)
- これから行く店はウナギがおいしい(待会要去的饭店鳗鱼很好吃。)

4.2 后续助动词,增添语法意义

- 彼は最近インターネットにはまっているみたい(他最近好像迷上上网了。)

4.3 后续接续助词

- 大雪で電車が止まったので、学校に遅れた(因为大雪电车停运,上学迟到了。)

4.4 后续形式名词

- 年をとると気が弱くなるものだ(一上年纪精神就不济了。)

5. 假定形

后续接续助词“ば”,表示条件。

- 読む→読めばわかる(读读就会懂。)
- 降りる→途中で降りればいい(中途下车就行。)
- する→今注文すれば来年の春には完成できる(现在预订明年春天可以完成。)
- 来る→春が来れば暖くなる(到了春天,天气就会暖和。)

动词假定形“ば”并不总表示假定条件,还可以有其它意义,详见第六章。

6. 命令形

命令形位于句末,表示命令。

- 自分で書く→自分で書け!(自己写!)
- 止まる、進める→赤が「止まれ」、青が「進め」の意味を示す(红色表示“停”,绿色表示“前进”。)
- 速くする→速くしろ!(快点!)

●来る→おい、来い！（喂，过来！）

第七节 补助动词

补助动词不单独使用，而是接在其他动词之后，起语法作用或增添语法意义。构造为：动词的连用形（五段动词音便）+“て”+补助动词。下面来具体说明一些典型的补助动词。

1. “～ている”

1.1 前接继续动词，表示动作或作用正在进行或继续。如：“（人的动作）読む、書く、笑う、泣く、勉強する、食べる、泣く、歩く；（自然现象）降る、散る”等等。

●鈴木さんは隣の部屋で雑誌を読んでいる（铃木正在隔壁房间里看杂志。）

●ラジオで野球の中継を聞いているところ、電話が入った（正在听收音机直播棒球比赛时，电话响了。）

●外では雪が降っている（现在外面下着雪。）

1.2 表示某动作、作用反复发生。

●地球上では多くの子どもが栄養不良で死んでいる（地球上有很多孩子因为营养不良而死亡。）

●私は毎日犬を連れて散歩をしている（我每天带着小狗散步。）

●彼女は自転車で学校に通っている（她每天骑自行车上学。）

1.3 前接瞬间动词，表示动作或作用已经发生，但其造成的状态或者结果仍然存在。如：「行く、来る、始まる、終わる、止まる、結婚する、壊れる、死ぬ、＜電気が＞つく、消える」等等。

●お父さん、窓ガラスが割れているよ（爸爸，窗户玻璃破了！）

●彼女は私より年下だが、もう結婚している（她年纪比我小，却已经结婚了。）

●私は今日本で留学して、今冬休みで北京に帰っている（我在日本留学，现在放寒假回到北京。）

1.4 前接「そびえる、似る、優れる、曲がる、尖る」这类动词时，表示单纯的状态。

●学校の北側に高い山がそびえている（学校的北侧耸立着一座高山。）

●このシーズンの新製品は省エネルギーの面で優れている（这季的新产品在节能方面非常突出。）

●私はつま先が尖っている靴は履かない（我不穿尖头鞋。）

2. “～ておる”

“～ておる”表示某动作或状态的持续，是“～ている”的郑重以及自谦表达方式。往往以“ております/ておられます”的形式出现。

●パソコンは今では多くの家で持っております（现在很多家庭都拥有个人电脑。）

●お客様のご予約は、明日になっておりますよ（您的预约是明天。）

●当キャンペーンは、通年で実施しております（本次活动会实施一整年。）

3. “～てある”

3.1 接续他动词，表示动作结果的留存状态。原动词的宾语“を”成为句中主语“が”。

●壁に絵がかけてある（墙上挂着画。）

●机の上にメモ用紙が置いてある（桌上放着便笺纸。）

3.2 表示预先已经做好准备。

●約束をしてあるか（事先约好的吗？）

●よく休んであるから、大丈夫だ（已经休息好了，没问题。）